

保存版

二子玉川
南地区

水害時 避難行動マップ

多摩川洪水版

二子玉川南地区(玉川一丁目1~11番、三丁目1・3番付近)は、大雨や台風の時には、多摩川の洪水により浸水する危険性が高い地区です。

水害から身を守るために、このマップを活用していただき、避難方法や避難路の確認、日ごろからの備えなどをしておきましょう。

令和4年3月発行
玉川総合支所地域振興課地域振興・防災
03(3702)1603

避難情報や気象情報等の入手方法

テレビ

地上デジタル放送視聴時にリモコンのdボタン(データ放送)を押すと、避難情報や開設避難所の情報、気象情報等を確認できます。

ラジオ

<https://fmsetagaya.com/>
エフエム世田谷(83.4MHz)で、区の避難情報や開設避難所の情報等を聞くことができます。

世田谷区ホームページ

<https://www.city.setagaya.lg.jp/>
区の避難情報や開設避難所の情報を確認できます。

世田谷区公式ツイッター

@setagaya_kiki
フォローすると区の避難情報等に関するツイートが配信されます。

世田谷区災害・防犯情報メール配信サービス

世田谷区ホームページ内で検索あらかじめメールアドレスを登録した方に避難情報や開設避難所等の情報がメールで届きます。

防災行政無線

屋外に設置しているスピーカーから避難情報等を放送します。なお、24時間以内に放送した内容は、0180-99-3151に電話する確認できます。

東京都水防災総合情報システム

<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp>
東京都が観測している降水量や河川水位情報等をリアルタイムで確認できます。

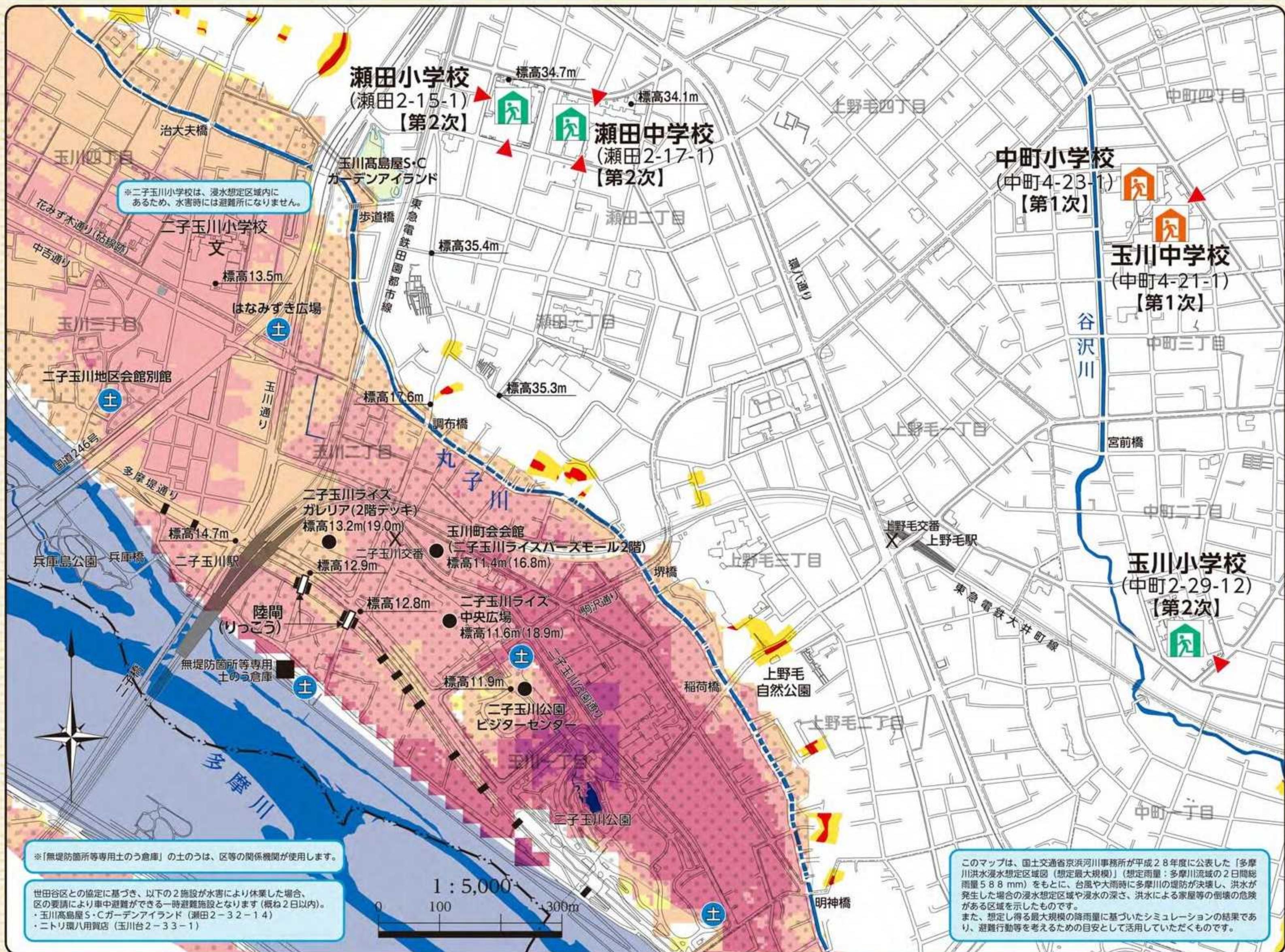
国土交通省京浜河川事務所ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
多摩川の水位や河川ライブカメラの画像等をリアルタイムで確認できます。

気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/>
最新の気象情報や今後の推移などのほか、洪水や土砂災害の危険度等も確認できます。

あなたの家から避難所等までのルートを確認しておきましょう。



凡例①

水害時避難所【第1次】
台風接近・通過前日(24時間前)までに開設

水害時避難所【第2次】
台風接近・通過当日(暴風雨前)に開設

▲ 学校入口

■ 階段

□ 陸閘(りっこう)
堤防の切れ目に生活道路を通しており、増水時にゲート等を閉めるなどで堤防の役割を果たす施設。

凡例②

土砂災害警戒区域(イエローフィールド)
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損害が生じるおそれがあると認められる区域

家屋倒壊等氾濫想定区域
木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生するおそれがあることから、早期の立ち退きが必要な区域

土のうステーション

浸水の深さ
水深10m~20m
水深5.0m~10m
水深3.0m~5.0m
水深0.5m~3.0m
水深0.5m未満

水害時において発令される避難情報等		
警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
警戒レベル 1	早期注意情報 (気象庁)	災害への心構えを高める
警戒レベル 2	大雨・洪水注意報 (気象庁)	自らの避難行動を確認
警戒レベル 3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	高齢や障害等の理由で避難に時間がかかる方は、雨風が強くなる前に早めに避難しましょう。
警戒レベル 4	ひなんしじ 避難指示	全員避難! 避難対象地域の方は、速やかに避難行動を開始しましょう。
警戒レベル 5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	命を守る行動を! むやみに外へ出ることが危険な状況です。自宅の2階以上に移動するなど、少しでも安全と考えられる行動をとりましょう。

※上記の避難情報は、区ホームページや防災行政無線、テレビ、ラジオなどを通じてお伝えします。詳細は、裏面の「避難情報や気象情報等の入手方法」を参照してください。

台風の接近前に、以下の再確認・準備を行いましょう

- 避難先や避難路の確認
- 家の周りの点検・清掃
- 非常用持出品、備蓄品の確認・準備
- 土のう、止水板等の準備
- 気象情報、河川情報の確認



非常用持出品チェックリスト(参考)

- 貴重品(現金、身分証明書等)
- 携帯電話(充電池等も)
- 応急医療品(常備薬、持病薬等)
- 非常食、飲料水
- 雨具(かさ、雨がっぽ)
- 衣類(着替え、タオル等)
- ティッシュ、ウエットティッシュ
- マスク
- 手指消毒液
- 体温計



警戒レベル 5 「緊急安全確保」発令

多摩川の氾濫など、すでに災害が発生または切迫しているため、むやみに外に出ることは危険です。自宅の2階以上に移動するなど、少しでも安全と考えられる行動を取ってください。

垂直避難

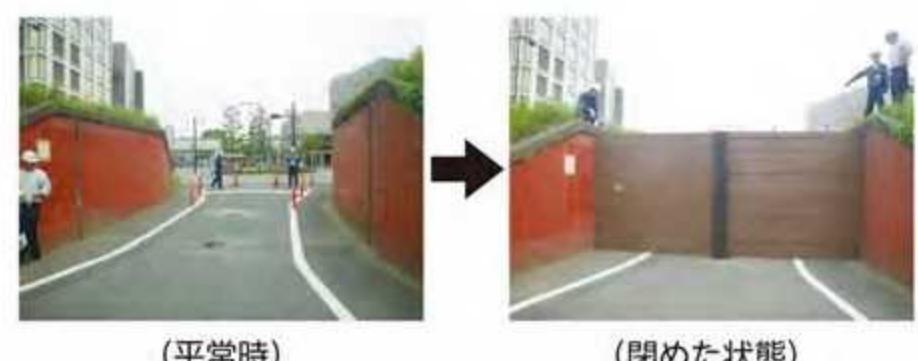
自宅の2階以上などへ移動すること。安全な場所まで避難する時間がない場合などに行います。



各家庭において、1週間程度の備蓄(1人1日3㍑の飲料水、食料、携帯トイレ、常備薬など)をしておきましょう!

陸閘(りっこう)について

玉川一丁目1~11番、玉川三丁目1・3番は、堤外地という位置づけになっており、多摩川が越水する場合には、陸閘(りっこう)を閉鎖することになっております。



警戒レベル 3 「高齢者等避難」発令

高齢や障害等の理由で避難に時間がかかる方は、この時点で避難を開始します。雨風が強くなる前に、早めに避難を始めましょう。それ以外の方は、非常用持出品の準備などを進め、避難に備えましょう。

地域での助け合い

避難所において隣近所に声をかけ合い、地域における共助の意識を持って行動することは、地域被害の軽減に繋がります。



「高齢者等避難」発令時は、公共交通機関等が機能している可能性があります。徒歩での避難が難しい方は早めに避難をお願いします。



警戒レベル 4 「避難指示」発令

避難対象地域の方は、速やかに避難行動を開始してください。

避難する際の注意点

- 地下室や地下駐車場は、水が流れ込むと水圧でドア等が開かない危険性があります。
- マンホールの蓋が吹き上がることがあるので近寄らないようにしてください。
- 水害時避難所には、駐車場はありません。



避難所に行くことだけが避難ではありません

避難所を利用する以外にも、以下のように様々な避難方法があります。これらの方法は、感染症の感染リスクを下げるにもつながります。自身や家族に合った避難方法や避難先を今一度考えてみましょう。

